



「2030年度燃費基準達成車」
e-HEV



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車
全タイプ

基礎情報	車両型式	6BA-FL1		6AA-FL4		
	原動機	L15C		LFC-H4		
	駆動装置	CVT		6MT		
環境性能情報	燃料消費率 ^{*1}	燃費(km/L) ^{*2}	16.3		24.2	
		WLTCモード	市街地モード(WLTC-L)	11.7	12.2	21.7
			郊外モード(WLTC-M)	17.1	16.6	27.6
			高速道路モード(WLTC-H)	18.9	18.8	23.4
			CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	142.4		95.9
	参考	—		2030年度 燃費基準達成車		
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減			
		試験モード	WLTCモード			
		認定基準値 (単位:g/km)	CO	1.15		
			NMHC	0.025		
NO _x	0.013					
参考	PM	0.005				
参考	—			九都県市指定 低公害車の基準に適合 (平成30年基準)		
適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)					
エアコン冷媒	種類/GWP値 ^{*3}	HFO-1234yf/1 ^{*4}				
	使用量	470g				
車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)					
環境負荷物質削減	鉛 ^{*5}	自工会2006年目標達成(1996年使用量 ^{*6} の1/10)				
	水銀 ^{*7}	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 ^{*8})				
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)				
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)				
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)				
環境への取り組み	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て				
	リサイクルし易い材料 ^{*9} を使用した部品	インパネ表皮、ウインドウモール、エアフローチューブ、オープニングトリム、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、ドアモール、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、アンダーカバーなどの内外装部品		MAW、インナーウェザーストリップ、ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、オープニングトリム、ピラーガーニッシュなどの内外装部品		
	再生材を使用している部品	吸音材、カーペット		バッテリーボックス		
	リサイクル可能率	車全体で95%以上 ^{*10}				
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基盤、電気部品のはんだ		使用部品: 電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)		
	水銀	全廃済み				
	六価クロム	—				
	カドミウム	—				
その他	グリーン購入法適合状況	—		グリーン購入法適合車		

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けずの走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 *3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
 *5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。
 *6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。
 *7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。
 *8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
 *9 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
 ※ この環境仕様書は2022年6月現在のものです。